

新年明けましておめでとうございます。

平素より「相談支援事業所ぱいろっと」の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

年頭に当たり、これまでの事を振り返ってみますと、本当にたくさんの方と出会い、お話をさせていただきました。知識や経験を積み重ねていく中で、改めて感じますのは、利用者様の為の支援が本当に出来ているかという事です。

障害者総合支援法において、障がいをお持ちの方が「どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保」される旨を規定し、福祉施設や相談支援事業者に対し、「意思決定支援」を重要な取り組みとして位置づけています。

「意思決定支援」の基本原則として、

- ① 本人への支援は、自己決定の尊重に基づき行う事。
- ② 職員等の価値観においては不合理と思われる決定でも、他者への権利を侵害しないのであれば、その選択を尊重するように努める姿勢が求められる。
- ③ 本人の自己決定や意思確認がどうしても困難な場合は、本人をよく知る関係者が集まって、様々な情報を把握し、根拠を明確にしなが意思及び選好を推定する。

とありますが、実際には支援者中心の支援になっている事も多いのではないのでしょうか。私自身も利用者様の考えに対して、勝手に無理だと決めつけてしまい、一般的な計画を立ててしまったのではないかと反省する事も多々あります。

もう一度基本に立ち返り、ご本人様、関係者様から情報収集を行い、ご本人の価値観、意思及び選好、心理的状況、これまでの生活史等ご本人様の情報や人間関係・物理的環境等を把握した上で支援が出来るようにしていきたいと思えます。

最後になりましたが、今年が利用者様やご家族様をはじめ、地域の皆様、各関係機関の皆様全ての方々にとって、健康で幸せな一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年明けましておめでとうございます。

令和5年12月1日開所して、無事1年を迎えることが出来ました。

この事業所では、居宅介護、同行援護、行動援護、移動支援の各事業を行っています。

昨年同様に備前市においては、4名のヘルパーが備前市において懸命に支援に努めております。

赤穂市は、昨年の11月に2名・12月に1名のご依頼があり移動支援を行いました。電車に乗り姫路へ行かれました。赤穂で開催された巡業相撲等、利用者様と一緒に行きました。

普段とは違う環境での外出ですが、利用者様から「楽しかった」との言葉を聞いたときは大変うれしい限りでした。

本年も力いっぱい支援に努めますので、何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

編集後記 今年は巳年。脱皮する蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味し、新しい事が始まる年になると言われています。また「巳」と「実」をかけて「実を結ぶ」年とも言われるようです。皆様にとりましてワクワクと実りある年となるよう祈っております。

文責：津浦

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

世界に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻が始まった時の予想を上回り長引き多くの死者負傷者が出続け、世界中の人が苦悶しております。もう1つ世界で最も解決が困難と言われるイスラエルとパレスチナの争いです。ハマスによる大量の人質、イスラエルによるガザへの攻撃。この問題も心痛みます、しかし、つい昨日停戦、人質一部開放のニュースが入ってきました。停戦が恒久的になるよう祈るばかりです。国内においては物品の値上がりなどで生活に大きな影響が出ております。

さて、当法人におきましては、数年前より中期目標となっておりますわかば園改築が業者選定の入札に向け公告を年明けより出ささせていただいております。ここに至るまでには数々の問題が待ち受けておりました。その都度、知恵、ご支援をいただき微力な私たちを支えてくださいましたことを心よりお礼申し上げます。今年中には新園舎で利用者様をお迎えできる予定となっております。数か月の工事中には利用者の皆さまには仮の園舎で過ごしていただくためこれまでの環境との違いに配慮し快適にすごしていただけるよう管理者、サビ管を中心に職員一同全力でのぞむ所存です。

また地域の皆さまには工事中ご不便ご迷惑をお掛けしないよう努力いたします。完成のあかつきにはこれまで以上に交流し気軽に使っていただける機会を設けたいと望んでおります。

B拠点では、「ヘルパーステーション・バディ」(居宅介護、同行援護、行動援護、移動支援)が開所して1年を迎えました。日生地区でのご利用に追われ赤穂、相生、上郡での提供が不十分となっております、ご迷惑をお掛けしております。今年はお要望にしっかりお応えできるよう本部からもアシストしてまいります。緑樹福祉会の6事業所(わかば園、ぷくぷくほ一む、てくてく、ぱいろっと、ファミリア、ヘルパーステーション・バディ)それぞれ年度初めにたてた事業計画、予算(プラン&バジェット)に基づき遂行しております。又その検証を半期に行っております。

微小の法人ではありますが、社会への貢献を最重視し、謹厳な運営を行うことに喜びを覚える法人でありたいと痛切に胸に刻んでおります。

地域の皆さま、家族会、関西福祉大学、理事・評議員・監事の皆さまに日頃の感謝を添えてご活躍ご多幸を祈念し、2025年が素晴らしい一年となりますよう新たな年のあいさつといたします。



わかば園（生活介護・就労継続支援B型）

管理者 仲 千恵子

新年、あけましておめでとうございます。

今年は、昨年より取り組んで参りましたわかば園の改築が落成を迎える歓喜の年です。ここまで到達できましたことは多くのご支援ご指導の賜物と、こころより感謝申し上げます。3月から工事に掛かる予定となっております。工事期間中は利用者様、地域のみなさまにご不便、ご迷惑をお掛けすると存じますが何卒よろしくお願い申し上げます。

【就労継続支援B型】

赤穂市手をつなぐ育成会様からの提案で関西福祉大学内の喫茶ライムの形態を変え、メニュー作りからわかば園が考え、又ホール、調理等も利用者様が積極的に動いていただけるようになりました。利用者様同士の声掛けが増え仲間意識、達成感が見受けられます。関西福祉大学総務課のInstagramに「本日のメニュー」を載せていただいております。皆様のお越しをお待ちしております。5月に新規の利用者様が1名増え、この3月からも新卒の方が1名利用予定です。今から楽しみにしております。

【生活介護】

昨年の季節の行事ではわかば園祭り、バス旅行、クリスマス会を楽しみました。お正月の福笑いでは、利用者様の楽しそうな笑い声が響いていました。又利用者様が作る壁画をわかば園祭り、選挙会場に利用の際に廊下に飾り、お褒めの言葉をいただきました。出来上がった作品を見て「ここは自分がした！」と利用者様が笑顔で報告に来られます。わかば園が、改築された際は展示場所を作り、皆様に見ていただきたいと考えております。

改築に伴い、利用者様が新しい環境になれるまでに不安、ストレスを感じられると思います。職員一丸となり利用者様が安心して過ごせるように努めてまいります。



1月壁画（生活介護利用者作品）

（初夢は一富士・・・）



福笑い

（今年も笑顔で）



給食（鮭のホイル焼き）

（今日もおいしそう）

ぷくぷくほ一む（短期入所・日中一時）

管理者 吉川 愛基

あけましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬご支援を賜り、ありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。利用者様同士が楽しく、安全・安心して利用していただける様に、細心の注意を払いながら日々の業務を送っております。

最近インフルエンザが流行っているとよく耳にします。インフルに限らずウィルス防止対策として、換気、手の消毒、うがい等行い、日々の生活に気を配っております。

一人一人の利用者様が楽しく過ごし今より少しでも満足してもらえよう、それぞれに合った過ごし方を、より細やかに、具体的に行えるように日々努力してまいります。

てくてく（放課後等デイサービス）

管理者 藤田 真紀子

明けましておめでとうございます。新年のスタートに、大石神社へ初詣に出かけました。ひとりひとり手を清め、新年への思いを胸にお参りすることができました。活動「正月遊び」では、福笑い・羽子板・かるた取り・坊主めくり・コマ回し等、昔遊びをしました。コマ回しは、オリジナルのコマを作り誰のコマが長く回り続けるのか勝負したり、コマが回ると模様がきれいだね！と色鮮やかなコマを楽しみました。かるた取りでは、低学年から中学部まで一緒に楽しみ「はい！はい！」と元気な声がプレイルームに響き渡りました。今年は、全体でのクッキング「おやつ作り」を再開しました。いろいろな経験や体験ができるような活動に取り組んでいきますので、保護者の皆様には、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。



初詣

大石神社に行ったよ！



カルタ遊び



おやつ作り

クリームブリュレを作ったよ！



ファミリア（共同生活援助）

管理者 前田 康裕

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、すこやかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

日頃より利用者様、ご家族様並びに地域の皆様からの温かいご支援とご協力を賜り、無事に新年を迎える事が出来ましたことを心より御礼申し上げます。

さて、障害者支援施設や共同生活援助施設での虐待などのニュースが後を絶たない昨今、令和7年度より地域連携推進会議を開催する事と会議の構成員が事業所を見学する機会を設ける事が義務化されます。居住や生活の場であるグループホーム等は、運営が閉鎖的になる恐れがあるという事で、地域の関係者を含む外部の目が定期的に入る事で事業運営の透明性を高め、一定の質の確保につなげるというのが趣旨となっております。

ファミリアでも、単に義務として受け止めるのではなく、利用者様がその人らしく安心して暮らす事が出来るよう、この仕組みを上手く活用しながら、地域との連携を推進し、事業運営に活かしていく所存でございます。

皆様の今年一年のご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。